nikko am
Nikko Asset Management

日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（南アフリカランドコース）

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第92期（決算日2017年２月15日）　第93期（決算日2017年３月15日）　第94期（決算日2017年４月17日）
第95期（決算日2017年５月15日）　第96期（決算日2017年６月15日）　第97期（決算日2017年７月18日）

作成対象期間（2017年１月17日～2017年７月18日）

第97期末（2017年７月18日）	
基準価額	3,742円
純資産総額	1,662百万円
第92期～第97期	
騰落率	10.5%
分配金（税込み）合計	180円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日興ピムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型（南アフリカランドコース）」は、2017年７月18日に第97期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、米ドル建ての新興国ソブリン債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社
東京都港区赤坂九丁目７番１号
http://www.nikkoam.com/

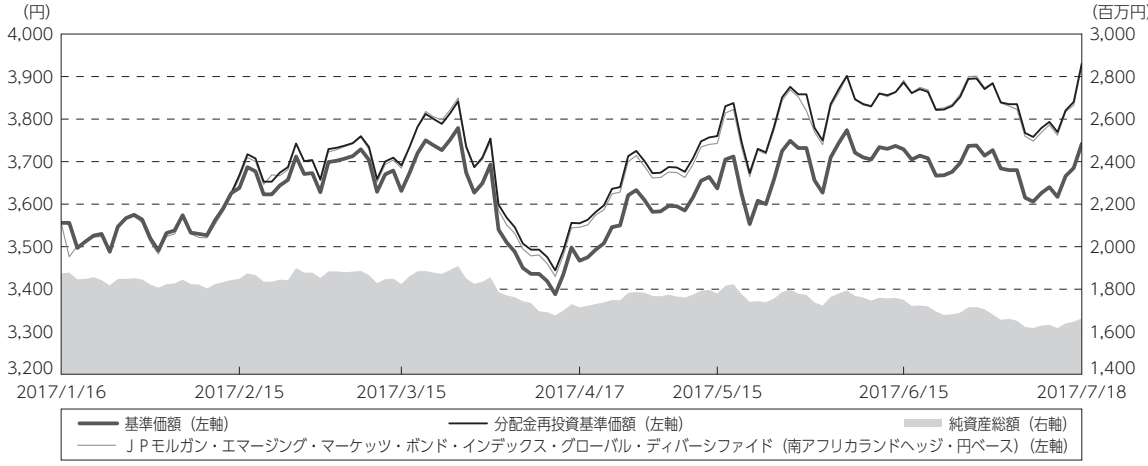
当運用報告書に関するお問い合わせ先
コールセンター　電話番号：0120－25－1404
午前９時～午後５時　土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2017年1月17日～2017年7月18日）



第92期首：3,556円
第97期末：3,742円（既払分配金（税込み）：180円）
騰 落 率： 10.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額およびＪＰモルガン・エマージング・マーケッツ・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド（南アフリカランドヘッジ・円ベース）は、作成期首（2017年１月16日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）ＪＰモルガン・エマージング・マーケッツ・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド（南アフリカランドヘッジ・円ベース）は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、米ドル建ての新興国ソブリン債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。また、投資先の投資信託証券においては、原則として、ファンドの純資産相当額の米ドル売り、南アフリカランド買いの為替取引を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞

・主要先進国と比べて相対的に高い利回りを提供する新興国債券に対する需要が拡大したこと。
・米国トランプ大統領の掲げる保護主義政策に対する過度な懸念が後退するなか、メキシコを中心に経済見通しが改善したこと。
・南アフリカ準備銀行が金融引き締めに動くなか、通貨安を阻止する姿勢が確認されたことから、円安／南アフリカランド高が進行したこと。

＜値下がり要因＞

・供給過剰懸念を背景に原油価格が下落したことが新興国の景気回復の重しとなったこと。

1万口当たりの費用明細

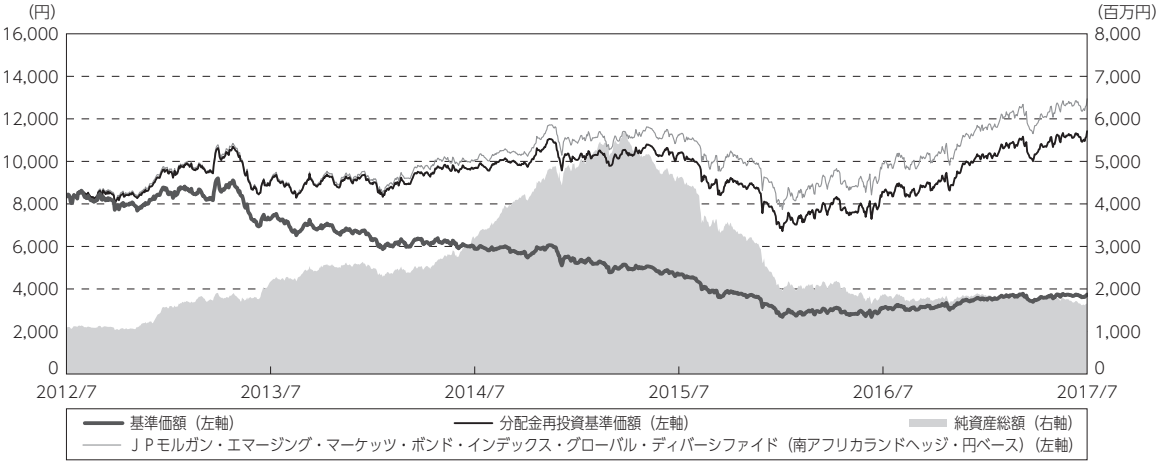
（2017年1月17日～2017年7月18日）

項目	第92期～第97期 金額	第92期～第97期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	32	0.866	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(17)	(0.471)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(14)	(0.379)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（受託会社）	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.037	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用）	(1)	(0.034)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
合計	33	0.903	
作成期間の平均基準価額は、3,641円です。			

（注）作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
（注）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近５年間の基準価額等の推移

（2012年7月17日～2017年7月18日）



（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額およびＪＰモルガン・エマージング・マーケッツ・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド（南アフリカランドヘッジ・円ベース）は、2012年７月17日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2012年７月17日決算日	2013年７月16日決算日	2014年７月15日決算日	2015年７月15日決算日	2016年７月15日決算日	2017年７月18日決算日
基準価額 (円)	8,337	7,294	5,893	4,676	3,120	3,742
期間分配金合計（税込み） (円)	－	1,800	1,800	1,600	710	360
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	－	8.8	6.9	7.2	△ 17.5	33.2
ＪＰモルガン・エマージング・マーケッツ・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド（南アフリカランドヘッジ・円ベース）騰落率 (%)	－	9.6	10.2	11.7	△ 11.8	30.5
純資産総額 (百万円)	1,091	2,170	3,178	4,599	1,868	1,662

（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
（注）騰落率は１年前の決算応当日との比較です。
（注）ＪＰモルガン・エマージング・マーケッツ・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド（南アフリカランドヘッジ・円ベース）は当ファンドの参考指数です。
参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

投資環境

（2017年1月17日～2017年7月18日）

（新興国債券市況）

新興国債券市場（米ドル建て）は、期間を通じてみると上昇しました。

当期間の新興国債券市場は、メキシコとの国境の壁の建設費用を予算に盛り込むことを先送りし、また中国の為替操作国認定を見送るなど米国トランプ大統領が当初掲げていた強硬な米国第一主義が軟化したことから、新興国経済に対する過度な懸念が後退し、上昇しました。更に、新興諸国における景況感の持続的な改善に加えて、主要先進国と比べて相対的に高い利回りを提供する新興国債券に対する需要が拡大したこともプラス材料となりました。また、米国では、政策金利の引き上げが決定されたことに加え、2017年内にバランスシートの縮小を開始する方針が表明されるなど金融正常化に向けて前進が見られたものの、軟調なＣＰＩ（消費者物価指数）を背景に米国国債利回りの上昇が抑えられ、新興国債券への影響は限定的でした。

（国内短期金利市況）

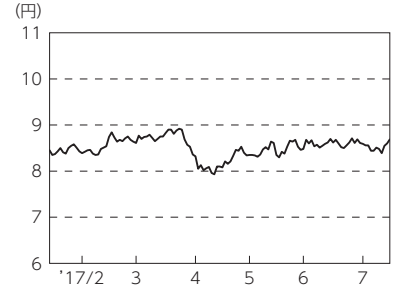
無担保コール翌日物金利は、期間の初めの－0.05％近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、－0.05％近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（ＴＢ）３ヵ月物金利は、期間の初めの－0.27％近辺から、日銀による国債買入れの継続や追加の金融緩和観測などを受けてマイナス圏での推移が続き、－0.11％近辺で期間末を迎えました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／南アフリカランドの推移



当ファンドのポートフォリオ

（2017年1月17日～2017年7月18日）

（当ファンド）

当ファンドは、収益性を追求するため、「ＰＩＭＣＯ エマージング・マーケット・ボンド・ファンドⅡ 南アフリカランドクラス」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

（ＰＩＭＣＯ エマージング・マーケット・ボンド・ファンドⅡ 南アフリカランドクラス）

新興諸国のなかでも、国によって経済・政治状況や外部環境は大きく異なることから、各国の財政状況や対外収支状況などファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）分析を重視した慎重なポートフォリオ運用を行ないました。具体的には、潤沢な外貨準備高を保有し、経済危機に直面した過去に比べて良好なファンダメンタルズを有するとみられるブラジルやロシアの投資配分は高めに維持しました。その一方で、地政学的リスクや脆弱なファンダメンタルズを有するトルコ、対外債務に対する依存度の高いハンガリーなどの国々に対する投資配分は抑えめとしました。

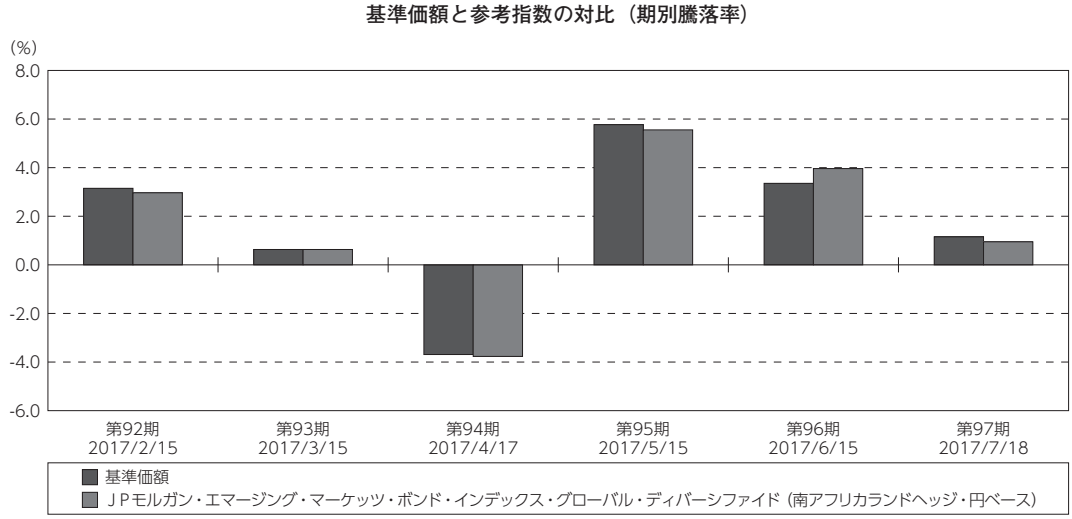
（マネー・オープン・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2017年1月17日～2017年7月18日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。
（注）ＪＰモルガン・エマージング・マーケッツ・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド（南アフリカランドヘッジ・円ベース）は当ファンドの参考指数です。

分配金

（2017年1月17日～2017年7月18日）

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　　目	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期	第97期
	2017年１月17日～2017年２月15日	2017年２月16日～2017年３月15日	2017年３月16日～2017年４月17日	2017年４月18日～2017年５月15日	2017年５月16日～2017年６月15日	2017年６月16日～2017年７月18日
当期分配金	30	30	30	30	30	30
（対基準価額比率）	0.818%	0.819%	0.858%	0.818%	0.798%	0.795%
当期の収益	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外	－	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	411	415	417	425	432	436

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、「ＰＩＭＣＯ エマージング・マーケット・ボンド・ファンドⅡ 南アフリカランドクラス」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

（ＰＩＭＣＯ エマージング・マーケット・ボンド・ファンドⅡ 南アフリカランドクラス）

新興国のファンダメンタルズは総じて改善してきており、当面は緩やかな景気拡大局面が持続するとみています。緩和的な金融政策により様々な資産価格が押し上げられている環境下、新興国資産は相対的に割安から適正水準にあり、投資妙味があると考えられます。ただし、短期的には米国の政治や金融政策の動向、先進国における非伝統的な金融緩和策からの脱却、コモディティ価格の動向などの外部環境の変化による影響については、引き続き注視する必要があるとみています。新興国への投資に際しては、米国の金融政策や保護主義的な通商政策などがもたらす影響が国ごとに異なるため、これまで以上に国の選別が重要になると考えています。従って、各国の財政状況や対外収支などに基づき、投資対象国を慎重に精査していきます。

ブラジルについては大統領の汚職疑惑を巡る捜査の進展には注意を要するものの、国内経済は回復の途上にあり、また豊富な外貨準備残高に裏打ちされた支払い能力を維持していることから、積極姿勢とします。2016年末に国際市場へ復帰を遂げたアルゼンチンについては、2017年10月に控えている国政選挙には留意が必要なものの、中南米諸国の中では相対的に流動性が高くかつ割安感があること、財政改革と金融政策が共に順調に進行しており、ファンダメンタルズの改善が期待できることなどから、積極姿勢とします。インドネシアについては、政府によるインフラ投資と内需拡大を背景に持続的な経済成長が期待できること、中央銀行が国内経済に配慮しつつも物価上昇率を低位に抑えた状態で金融政策を維持できていることなどから、積極姿勢とします。一方、トルコやハンガリーなど、地政学的リスクや脆弱なファンダメンタルズ、高い対外資金依存度などを背景に、消極姿勢とします。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・オープン・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

お知らせ

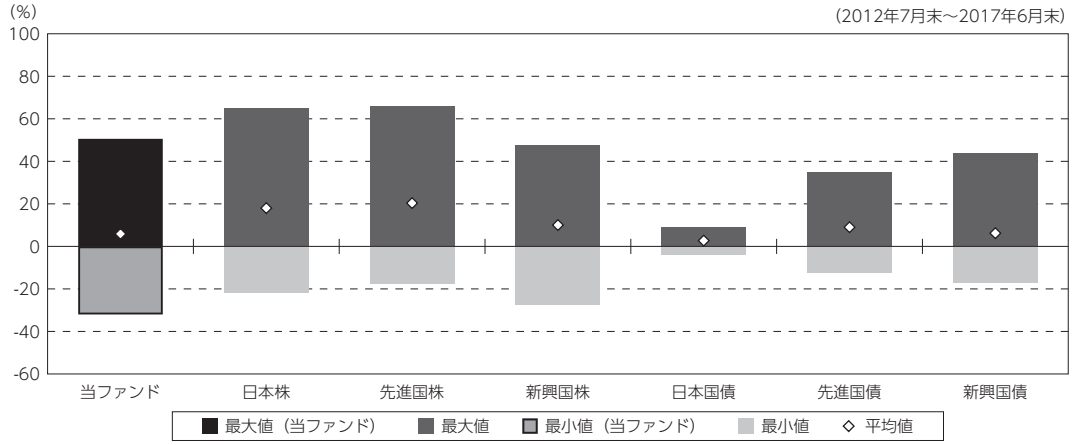
2017年1月17日から2017年7月18日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2009年7月10日から2024年1月15日までです。
運用方針	投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	「ＰＩＭＣＯ エマージング・マーケット・ボンド・ファンドⅡ 南アフリカランドクラス」受益証券 「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	主として、米ドル建ての新興国ソブリン債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。投資先の投資信託証券においては、原則として、ファンドの純資産相当額の米ドル売り、南アフリカランド買いの為替取引を行ないます。
分配方針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：%）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	50.6	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	△ 32.0	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	5.9	18.0	20.3	10.0	2.7	9.0	6.2

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）2012年７月から2017年６月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日 本 株：東証株価指数（TOPIX、配当込）
先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）
日本国債：NOMURA-BPI国債
先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数（TOPIX、配当込）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。**●MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）**は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。**●MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）**は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。**●NOMURA-BPI国債**は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。**●シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）**は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。**●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）**は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

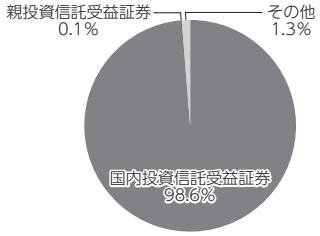
（2017年7月18日現在）

○組入上位ファンド

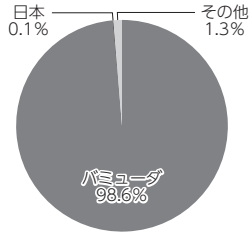
銘柄名	第97期末
	%
PIMCO エマージング・マーケット・ボンド・ファンドⅡ 南アフリカランドクラス	98.6
マネー・オープン・マザーファンド	0.1
組入銘柄数	2銘柄

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

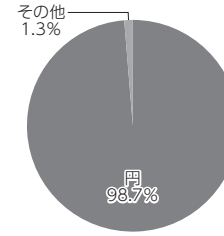
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
（注）国内投資信託受益証券には外国籍（邦貨建）の受益証券を含めております。
（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

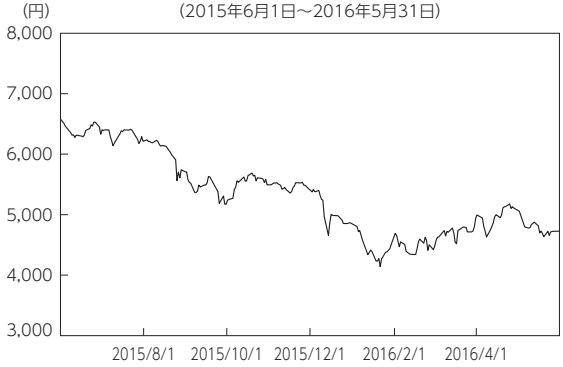
項目	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末	第96期末	第97期末
	2017年2月15日	2017年3月15日	2017年4月17日	2017年5月15日	2017年6月15日	2017年7月18日
純資産総額	1,848,716,902円	1,824,076,305円	1,714,713,296円	1,780,203,864円	1,750,117,281円	1,662,568,225円
受益権総口数	5,082,369,970口	5,023,755,844口	4,945,419,171口	4,894,854,918口	4,692,686,793口	4,442,432,549口
1万口当たり基準価額	3,638円	3,631円	3,467円	3,637円	3,729円	3,742円

（注）当作成期間（第92期～第97期）中における追加設定元本額は465,967,867円、同解約元本額は1,294,617,442円です。

組入上位ファンドの概要

ＰＩＭＣＯ エマージング・マーケット・ボンド・ファンドⅡ 南アフリカランドクラス

【基準価額の推移】



【１万口当たりの費用明細】

(2015年6月1日～2016年5月31日)

当該期間の１万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

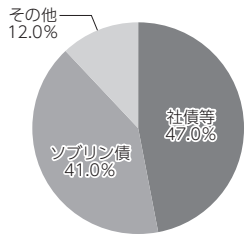
【組入上位10銘柄】

(2016年5月31日現在)

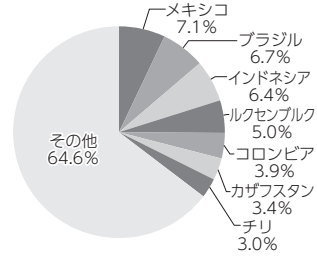
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	Gazprom OAO Via Gaz Capital S.A. 9.250% due 04/23/2019	社債等	アメリカドル	ルクセンブルク	1.8
2	Petrobras Global Finance BV 4.875% due 03/17/2020	社債等	アメリカドル	ブラジル	1.6
3	Indonesia Government International Bond 6.750% due 01/15/2044	ソブリン債	アメリカドル	インドネシア	1.5
4	Petroleos Mexicanos 6.500% due 06/02/2041	社債等	アメリカドル	メキシコ	1.4
5	BBVA Bancomer S.A. 6.500% due 03/10/2021	社債等	アメリカドル	メキシコ	1.4
6	Brazil Minas SPE via State of Minas Gerais 5.333% due 02/15/2028	ソブリン債	アメリカドル	ブラジル	1.4
7	Petrobras Global Finance BV 5.625% due 05/20/2043	社債等	アメリカドル	ブラジル	1.4
8	Kazakhstan Temir Zholy Finance BV 6.375% due 10/06/2020	社債等	アメリカドル	オランダ	1.3
9	Ecopetrol S.A. 5.875% due 05/28/2045	社債等	アメリカドル	コロンビア	1.2
10	Vnesheconombank Via VEB Finance PLC 6.025% due 07/05/2022	社債等	アメリカドル	アイルランド	1.2
組入銘柄数		242銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

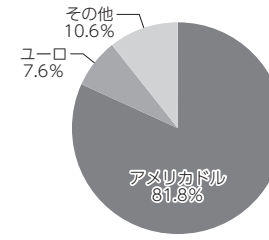
【資産別配分】



【国別配分】



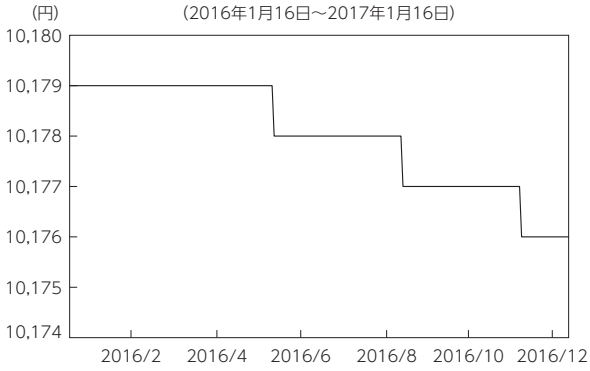
【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
※組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、実質的な運用を行なっているＰＩＭＣＯ エマージング・マーケット・ボンド・ファンド（M）の情報です。

マネー・オープン・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2016年1月16日～2017年1月16日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) その他費用	0	0.000
(その他)	(0)	(0.000)
合計	0	0.000
期中の平均基準価額は、10,178円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入資産の内容

(2017年1月16日現在)

2017年1月16日現在、有価証券等の組入れはございません。